

番号	項目	質問事項	回答
13	7 (1) 通訳業務について	準備業務の内容および準備期間について詳しく教えてください。	通訳の準備に係る記述は、通訳を行うにあたって準備が生じる可能性があるものを例示したものです。貴社で通訳に必要と考える準備業務を含めて単価としてご提案ください。 準備期間については、商談日時を原則5営業日前には決定し、通訳を依頼したいと考えていることから、その依頼から商談日までが準備期間となります。
14	7 (1) 通訳業務について	例年の内容でかまいませんので、以下の項目について教えていただけると幸いです。 ① 翻訳のボリューム（全体的） ② 翻訳内容の提供方法：紙／データ（データの場合、どの種類） ③ 翻訳期間（依頼から納品まで、また、その納品方法等） ④ 翻訳内容について確認事項が合った場合の担当窓口	通訳の準備に係る記述は、商談日当日の通訳を行うにあたって準備が生じる可能性があるものを例示したもので、翻訳が必須とはしていません。 商談時にどのような資料を基に商談に臨むかはサプライヤー毎に違うことから、予め想定することは難しいと考えております。 ただ、準備期間として上記5営業日と示されていることから、その期間で準備対応として何ができるのかを踏まえてご提案いただければと思います。 事前に収集できた商談資料（企業情報、商品情報等）については、事務局から受託事業者へ事前に提供できるよう検討しております。 なお、通訳業務に係る担当窓口は、実行委員会事務局（沖縄県産業振興公社）となります。
13	7 (1) 通訳業務について	商談会の通訳当日までに主催者との打ち合わせや事前通信確認テストなどは予定しておりますでしょうか。また、行う場合はどのように行いますか。	参加者個別（バイヤー毎・サプライヤー毎・通訳毎）にTeams接続テストを予定しております。 商談会当日までの主催者との調整については、通訳者個々とはなく、受託事業者と行います。その中で、企業情報や商品情報及び商談時資料等を提供し、個々の通訳者に共有していただきたいと思います。